

ご教示願います！ SDGsの取り組み方

Vol.21

2024年現在、IoTや5Gの普及加速、LED照明に代表される省エネについての提案営業、脱炭素社会の実現（カーボンニュートラル）、太陽光発電、蓄電池などエネルギー分野の発展、建築業界における働き方改革など、私達、電材業界が取り組まなければならない社会的・環境的貢献課題は、まさにSDGsの課題そのものです。

第21回目の今回は、神奈川県単組所属の大江電機株式会社様を訪問し、大江光正代表取締役社長、管理部長、務人事課より石川千咲季様、滝波幸和様にお話を伺いました。

しかしながら、「SDGsに取り組みたいが、どのようにして進めていけばよいか分からない」という声を多く頂いた事から、すでにSDGsに取り組まれている会社様へ緊急取材をお願いし、SDGsとは何なのか、取り組む事のメリットなどをお伺いし、組合員会社様のSDGs取り組み会社増へと繋げる記事を連載致します。



左から石川様、大江社長、滝波様（ベ이스タースルームにて）

「人本主義経営（人間本位の経営）」 と「地域社会と環境に貢献」

青年会議所のネットワークを利用して、プロ野球選手のセカンドキャリアをサポート

弊社のブランディング担当からブランディングという観点でY-SDGsに登録したらどうかという提案があり、登録する運びとなりました。

事務局 大江電機様はSDGs流行以前から、様々な社会貢献活動に取り組まれておりましたが、2022年に横浜市のSDGs認証制度「Y-SDGs」（登録すると外国人材採用の紹介サービス提供、地域再生支援利子補給金制度利用、横浜市総合評価落札方式の評価加点等が受けられ、最上位、上位、標準のランクによつて企業のメリットが増える仕組み）に登録された経緯をご教示頂けないでしょうか。

大江社長 地域貢献を目指して登録した訳ではなく、知人やお客様から勧められたまでです。

石川様 元々、弊社のホームページを制作頂いている会社様がY-SDGsに登録されていた事からお声掛け頂き、

弊社の企業目的は、「事業活動を通じて、社員個々の成長を図る」であり、「人本主義経営（人間本位の経営）」と「地域社会と環境に貢献する」事を経営理念で謳っています。

出発点は経営理念であり、これまでの取り組みが結果としてSDGsに繋がっていただけです。

事務局 ありがとうございます。実は、

全日電材連の組合員会社様でもSDGsに取り組んでいると言つて問題無い会

社様が百社以上あるので、今回のお話は、そういう会社様がSDGsの取り組みの公表に繋がるお話になればと思っております。

では、本題としてまず伺いたいのが、プロ野球選手のセカンドキャリア支援についてです。SDGs目標8「働きがいも経済成長も」に繋がる取り組みですが、実はこれは、大江電機様のHPで知るよりもYahoo!ニュースのトピックスに上がった事で知ったお話でした。プロ野球界のセカンドキャリアについては、数十年前から課題でした。この取り組みは野球ファンとしても大変有難いと感じていたので、取り組みのきっかけや詳細をお伺い出来なんでしょうか。

大江社長 実は今、「一般財団法人横浜野球友の会」と「横浜DeNAベイスターズを応援する会」の理事長を務めています。

1977年に大洋ホエールズが川崎から横浜に進出する際、横浜スタジアムの建設資金を集めるために、当時、横浜青年会議所のトップであった鶴岡博氏が奔走して20億円をたった2週間で調達した経緯がありました。ベイスターズや横浜スタジアムと横浜青年会議所はそこで密接な関係を築き上げ、その後、鶴岡氏は設立した横浜野球友の会の理事長も務め、さらに横浜スタジアムの社長に就任します。横浜野球友の会の理事長には鶴岡氏の後任として齋藤精二氏が就任し、私も横浜青年会議所でお世話になつていた事から、役員任命の声がかかり、月日が流れて、齋藤氏からバトンを受け継ぐ形で、私に理事長が回ってきたという流れです。

「想」実現への協力や2軍選手の表彰事業を行っていますが、新たに、プロ野球選手が自由契約となる年齢は圧倒的に20代が多い点に着目しました。早い選手は1年で契約を切られてしまう事もあり、ほとんどが野球しか知らずに生きてきた方々ばかりですので、選手後の生活が上手く行かないことが多いと伺います。

ですが、せっかく横浜の地に来て野球をやつて、次の人生を横浜で過ごしたいと思う選手がいるならば、その人達の就職先を私達が斡旋するような活動は出来ないかと球団に提案しました。それが地元の新聞に掲載され、ネットニュースになったという訳です。

「このサポートがあれば、選手達もこの地で選手生活を終えたい」と安心して引退出来る環境になると思っています。

大江社長 ただ、自社の採用が上手くいかないから誰でも受け入れるというような体制や、紹介する人が自社を優先して動いてしまうとミスマッチが必ず起きます。あくまでリタイアした選手が、次の人生はこういう仕事で生きていきたいという想いに沿った、相応しい企業を紹介していくシステムにしています。

外国人採用のポイント、ご家族や経歴等のバックボーンを理解する事

事務局 次に、目標4「質の高い教育をみんなに」に繋がる、カンボジアの教育支援について、詳細をご教示頂けないでしょうか。

大江社長 カンボジアの教育支援については、私の人生経験が関わっています。

弊社の初代社長・大江菊四郎が中島飛行機(株)(現SUBARU)に就職が

決まっていたのですが、国の命令で海軍に就職する事になり、爆撃機の設計に

**プロ野球選手
セカンドキャリア支援へ
横浜の経営者ら試み**

(神奈川新聞、社会面、
2022年8月21日)

<https://www.kanaloco.jp/news/social/article-932044.html>

横浜野球友の会は、役員のみで構成されていた会でしたが、2022年春に応援する地元企業を中心とした会員組織を立ち上げました。

球団が掲げる「横浜スポーツタウン構

事務局 他の11球団もですが、サッカーやバスケットボール等の別の競技でもそ

携わり、自らも戦地へ赴きました。戦

後、帰国してから学校教員を目指していたのですが、職業軍人として扱われてしまい、公職追放で道が閉ざされ、一般企業の就職も許されなかった事から、「大江電気材料部」を創業しました。

海軍を通して、他国の軍隊が来る事は、その国の人達に多大な迷惑をかけていたという話を何度も聞かされてきました。日本も被害を受けましたが、加害者でもあった事実、1人の日本人として、返せるものがあればという気持ちがずっと胸の中に取りました。

また、私自身は学校の教師になるのが夢でした。父親が創業した会社を継

がなくてはいけないという想いとせめぎ合いは常にありました。結局は今に至る通り会社を選択しましたが、事業を通じて、海外の貧しい国に何かの形で教育支援が出来ないかと思っていました。

タイミングや自分の後継者が早く見つかったりすれば、自分が現地に入って、子どもの教育をやるうとさえ考えていた程です。

そんなある時、ワタミ(株)の渡邊美樹氏を青年会議所の講演会に招いたきっかけでワタミの株を購入した所、株主優待券をNPO法人に寄付出来るコース

がある事を知りました。そこで寄付先

である公益財団法人スクール・エイド・ジャパンの活動を知り、事務局に連絡した所、対応頂いた方は、横浜市の小学校の元校長で、教育業界では大変優秀な方であったにも関わらず、定年後はこの事業に携わり、非常に熱心な活動をしていました。

私自身、様々な事に対して真剣に生きていく方との出会いは大事にしたいです、本物と感ずる人とは積極的に繋がろうと思っておりますので、資金援助の要請は迷いなく快諾しました。

その後、現地の視察に向かうと学校の校舎は古く、雨漏りも酷かったため、

まず、建設支援を行う活動を始めました。現在、12校の支援を行い、建築贈

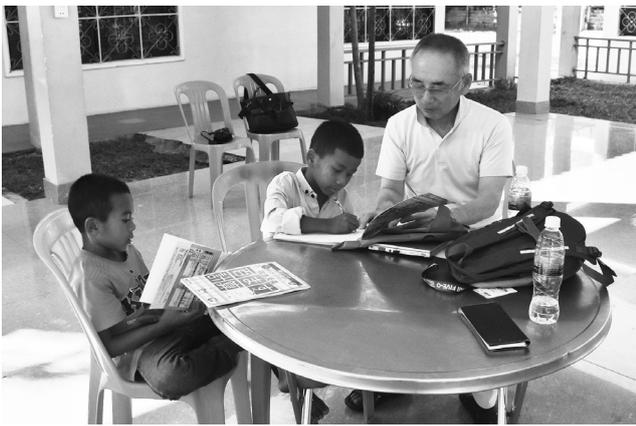
呈式では弊社の社員と一緒に連れられていき、日本とは違う環境を実体験してもらっています。

事務局 大江社長は以前から、経営者というよりも教育者というイメージがありました。という経緯があつたので、海外事業展開をされたのもそういう経緯ですか？

大江社長 いえ、それまで海外事業は貿易も何も行っていませんでしたが、新たに製造部門を海外で立ち上げるといってお客様がおり、話を伺ってからトン拍子で話が進み、2002年秋には決まりました。

また、海外(中国)で事業展開をするからには、現地の方に任せるのがベストだと思ひ、2004年の年末には様々な手続きを経て会社を設立し、現在でも外国籍の方に事業を任せています。

国内事業所における外国人採用は海外事業がきっかけで始め、現在では役員をしている者もいます。当初は、日本語もままならなかったですが、雰囲気が良い方だったため採用しました。それから



実際に現地に訪れ、子ども達と触れ合っています。



「Yume自販機」
利用する事で、数円をスクールエイドジャパンに寄付しています。
子ども達の笑顔にあふれたラッピングを施しています。

さらに外国人採用が増え、現在では10名を越え、比率はかなり多い方だと思っています。

社員達も初めは違和感があったと思いますが、弊社の外国人社員は大変優秀で、非常に助かっています。

外国人社員の採用は、電材業界では、作業や管理、配送もですが、営業は特に難しいと思います。一方、技術的な方面、特にエンジニア系だと上手くいくと思います。

勿論、価値観が違いますから採用して育成していくのは簡単ではありません。お互いに理解をするまでには時間がかかります。本人達が思う仕事レベルとこちらが要求するレベルが合わないことが多いため、諦めないで指導していくことが大事です。

外国人採用は受け入れる側が日本人の社員と同じように指導しようとするミスマッチが必ず起きます。会社のニーズとその方の持っている能力を活かせると思った部分、経歴や家族、国の文化などのバックボーンを理解しないと継続雇用は難しいかもしれません。

子ども達に対して出来る、SDGsの取り組み

事務局 続いて、目標11「住み続けられるまちづくりを」に繋がる「子ども110番」についてですが、実は、取り組まれている会社様が意外と少ないので、ぜひ、ご教示頂きたいです。

大江社長 弊社周辺の道路は、近隣にある関東学院小学校の通学路になっていて、毎朝、交通整理を行っています。きっかけは2007〜8年頃、子ども達の帰宅途中に変質者が出た事があり、逃げ場所を作ってあげようという意図から始めました。

滝波様 毎朝、小学生から高校生までが通ります。弊社の北側には物流センターもあり、早朝に納入される業者様と時間帯がぶつかる事もあってトラックの出入りが多く、通勤で飛ばす車もあるため、社員が交替で旗を持って、交通誘導をして子ども達を見守っています。

また、弊社駐車場の目の前が保育園になつており、営業に向かう際によく園児達のお散歩と重なるため、通り返ぎ



毎朝、交替で交通誘導を行っています。



交通誘導を行った事から頂いた、子ども達からの感謝状

るまで待つてくれる社員に対して、感謝状を頂いた事もあります。

それに加え、弊社にはAEDが設置されていますから、各学校や保育園にAEDをお貸しする連携体制も整備しています。

大江社長 交通整理は当時の専務からの提案により始めた事で、彼はこの取り組みが定着するまで、2〜3年間1日も休まず常に行っていました。そういう

事から、神奈川県交通安全課から2度程、表彰を頂いた事もあります。

この地で長らく仕事をさせて頂いていきますので、地域に何らかのお返しをするのはごく普通の事だと思います。

事務局 頭が下がる思いです。実際に何か起きた事はありましたか？

滝波様 通学途中のお子さんが、お腹が痛くなったようで、居合わせた社員が声をかけて、トイレまで案内した事があ



オリジナルのこども110番ステッカーを作成して、掲載しています。

ります。その後、元気に学校へ行けたよ
うで、後日、学校から社員へ御礼の電
話が届いた事がありました。

事務局 素晴らしい対応だと思えます。
そういう環境だと子ども達も安心して
通学出来ると思います。ちなみに、「子
ども110番」はどうやって始めるので
すか？

石川様 正式にはPTAが主宰して
行っており、たまたま子どもが近隣の小
学校に通っている社員を通じて、子ども
110番の登録用紙を頂いて、ステッ
カーを貼らせて頂いています。それとは
別にオリジナルステッカーも作成して、
いつでも駆け込んで頂けるようにしてい
ます。学校側とは活動報告やこういう
事をお願いしたいという連絡を受ける事
もあります。

大江電機様から伺った SDGsに取り組むポイント

- 1、外国人採用は、価値観が
違うため、その方の経歴や
家族、国の文化等のバック
ボーンを理解して、根気よ
く指導していくことが大事。
- 2、電材卸会社は地域密着で
経営している会社が多いた
め、取り組みやすい「子ども
110番」はオススメ。



過去の掲載分は、全日電材連ホームページ
「SDGsへの取り組み」にて掲載中。

<https://www.jeda.or.jp/sdgs.html>
#sdgsNews

※SDGsに取り組み、取材許可を頂ける
会社様がございましたら、全社伺わせて
頂きます。全日電材連・事務局・伊達ま
でご連絡下さい。(03-3541-7192)

元々行っていた事もありますが、他社
様にもオススメしたい、簡単に出来るS
DGsの取り組みだと思えます。

事務局 小学校関連で同じく目標4に
繋がる、劇団四季様への支援もされてい
ると伺いました。

大江社長 劇団四季が数年前に横浜で
公演を行った際、商工会議所で劇団四
季の吉田智誉樹社長に講演頂きました。
その際、吉田社長と私が同じ高校出身
だった縁で紹介頂き、会食した席で「こ
ころの劇場」について伺いました。

「こころの劇場」は、「人として生きる」
をテーマに日本全国の小学6年生に無
償で劇団四季のミュージカルを公演する

劇団四季が行う「こころの劇場」
は、一般財団法人舞台芸術セ
ンターが運営しております。
詳しくは下記公式サイトをご確
認下さい。

[https://www.shiki.jp/group/
csr/kokoro.html](https://www.shiki.jp/group/csr/kokoro.html)

活動です。

この活動に感銘を受け、神奈川での
開催時はスポンサー協力をし、会場に
は弊社の新入社員をボランティアで派遣
して、子ども達の入場整理を手伝っても

らっています。

子ども向けのミュージカルは大変感動
します。子どもの心に訴えるような魅
力が豊富に詰まっており、大変素晴らし
い事業だと感じています。

大江電機様の
SDGsの取り組みは、
<https://ohe.jp/csr>
からご確認下さい。